

第2510地区 第11グループ



2009~2010

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2009~10年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来は  
あなたの手の中に



2009~10年度  
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

弗田和則 会長 テーマ

— ロータリーの和を大切に —



10月28日 「新入会員卓話」 鶴喰 理三 会員

《第2220回例会》 第17号 11月4日(水)

本日のプログラム

卓話「財団と米山について」

新 博夫 会員

★会長 弗田和則

★幹事 藤田正男

例会場：函館国際ホテル  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10  
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151  
TEL23-3870

## 文字組版と画像処理をプロデュース

チラシ・パンフレット・DMの企画・デザインから  
記念誌・会報・研究論文の組版・印刷を  
トータルでサポートします。

総合デジタルシステム



# 共立印刷

函館市吉川町6番6号

☎43-7650 FAX 43-1475

e-mail: kyoinsat@seagreen.ocn.ne.jp

(広告掲載：渡部 二康 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【11月2日現在のアクセス数：8998件(+13件)】

### ◎10月14日出席報告 (深瀬晃一 委員長)

会 員	28名	出席率対象会員	28名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	19名	当日欠席	9名
他クラブ出席	7名	出席合計	26名
出席率	92.86%		

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・11月11日  
プログラム

### 千葉港RC創立25周年記念例会報告

山下 清司 友好クラブ委員長

10月28日の記録

◎司 会 弗田 和則 会長      ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ビジター 函館五稜郭R.C.千葉 孝志君

◎会長報告 弗田 和則 会長

- 10月24日(土)函館ロータリークラブ創立75周年記念式典・記念講演並びに祝賀会が開催され、石橋ガバナー補佐、幹事、松見会員と私で出席してきました。
- 千葉港R.C創立25周年記念例会の際のお土産は南木会員のご尽力により決定しました。

◎委員会報告

○社会奉仕委員会 南木 哲雄 委員長

- そらぶちキッズキャンプに対するご協力を皆様にお願ひしておりましたが、10月23日会員全員28名(一人2千円)分を文書を添えてお送りしました。
- 後日礼状が送られてきましたら、改めてご紹介いたします。

◎幹事報告 藤田 正男 幹事

- 函館亀田R.C11月2日(月)の例会は自主休会に変更です。
- 千葉港R.C創立25周年記念例会にご出席の方はスケジュールをご確認下さい。
- 同上 6、7日式典当日担当者の携帯電話をお知らせしておきます。

◎親睦活動委員会 渡部 二康 委員長

ニコニコBOX投入報告

- 弗田会長……鶴喰さん卓話よろしくお願ひします。
- 藤田幹事……結婚祝のお花をいただきありがとうございます。
- 柴崎会員・森 会員・小笠原会員・恩村会員……鶴喰さん卓話期待しています。
- 南木会員……そらぶちキッズキャンプへのご協力皆様ありがとうございます。

◎新入会員卓話(自己紹介その他) 鶴喰 理三 会員

- 新入会員卓話という事で、自己紹介とこれまでの思い出話をしたいと思います。
- 昭和26年函館で生まれ、その後札幌に移り小学校5年に函館に戻り湯川小学校・中学校卒業、高校は中部高校を出まして、大学は東京商船大学に行きました。
- その後昭和49年に大学を卒業後日魯漁業(株)に入社しました。
- 日魯漁業では当初ずっと本社勤務で主に船関係の仕事でしたが、JICA等のODAのコンサルの仕事にも携わりました。
- 200海里問題で漁労事業から撤退し船がなくなり、それに伴い平成2年に函館に転勤し函館技術センターという、生産工場の設備の製造・保守を行う部署に一時在籍しましたが、平成10年に本社に戻り生産技術室というニチログループ全体の設備を管理する部署に配属となりました。
- その後、平成14年に森工場に配属、そしてこの4月当ホテルに勤務となりました。
- 家族は3人娘がおりまして3人一緒に東京で暮らしており、長女は看護師、次女は介護士、三女は医療事務をしております。
- 私はとにかく小さい頃から外国に行くのが夢で、その手段として船しかないと考え、多少紆余曲折もありましたが東京商船大学へ入学、更に「外国へ行かせてやる」と言う甘い誘いに乗り日魯漁業へ

就職する事となりました。

最大の目標であった遠洋航海はオーストラリアのフリーマントルとシンガポールへ行きました。

一番の感動は、洋上で見た満天の星で、見えるところは全て星座というより砂を敷き詰めたような感じでプラネタリウムとは全く違う景観で圧倒され感動したものです。

又、赤道付近では赤道無風地帯というのがあり、しばらくの間全く風がなく海面が鏡のようになっていながらもかかわらず、うねりのせいで船は大きく揺れているという、なんとも奇妙な感覚を覚えたものです。

日魯漁業に入社してから5年目頃にやっと念願の海外出張の機会を得ました。

場所はニュージーランドで、現地水産会社との合弁会社の船の検査工事で行きました。

当時ニュージーランドは日本からの直行便もなくオーストラリア・シドニー経由で入り、居住する日本人はほとんど居ませんでした。非常に治安の良い所という印象があります。ホテル住まいをしていましたが部屋に鍵をかける人などおらず、廊下にはミルクとケーキが置かれ自由に食べられるようなシステムでした。

ちなみにホテル代は、長期になるので一応事前に値段交渉をしたところ35ドルと言われ、会社の規定が50米ドル位でしたし食事は船で食べられるので、たいしたホテルではなかったのですがまあいいやと了承し、その後週に1回精算して欲しいということで精算したところ週35ドルでした。

そのときの出張期間は1ヵ月半位でしたが、海外出張で黒字になったのはその時が最初で最後で10数万円浮きました。

ちなみに、その他の海外出張はほとんど赤字でしたが、元々ただで外国へ行かせて貰っていると思うと全く不満はありませんでした。

その後、会社でも船の仕事の他に、JICAに代表されるようなODAのコンサルタントの仕事も行うようになり、その関係でも色々な国へ行き、結局これまで30数カ国になりました。

その中で、いやな思いやつらい思いというのはあまり記憶に無いのですが、旅行中思いがけず酒が飲めなかった話を紹介します。

一つ目は二回目のニュージーランド出張からの帰途、オークランドに泊まった時に、ニュージーランドというのは通常ホテルには必ずバーがあるのですがそのホテルには見当たらず、これはまずいと思いながら、ベッド脇のテーブルの上のパンフレットを見るとTEMPERANCE ホテルと書いてある。

何かと思って辞書を引いてみたら、宗教上の理由で禁酒とでていました。

二つ目はアメリカのヒューストンです、夜の9時頃にホテルにチェックインした後荷物をおいてきてまずはバーでも行こうと下へ降りたら、テキサス州法律により9時以降の酒類販売は禁止されておりますとの看板。

9時数分過ぎです、フロントのお兄さんに部屋で飲むからウイスキーのボトルだけで良いから売ってくれと交渉したのですがダメでした。

三つ目は、イエメンというイスラム教の国に泊まった時で、これはある程度覚悟はしていましたが、それほどショックは大きくありませんでしたが、海外出張先で一人でしかも酒も無しというのは非常に寂しいものです。

最後に、全く別の話ですが実は今日午前中MRIを受けてきました。

4年前に脳梗塞を患いました。検査入院の結果で原因が見つかり今は全く問題ありません。

患ったと言うより、そう診断されたと言った方が的確だと思いますが、皆様方へのご参考の為に経緯を少しお話ししておこうと思いました。

その時に他も精密検査を行い他は全く異常なく、お酒の量も減り、おかげでむしろ健康になったと思っています。